

2021年1月期（第35期） 決算概要資料

TOKYU REIT

東急リアル・エステート投資法人

証券コード：8957 <https://www.tokyu-reit.co.jp>

新型コロナウイルス感染症の影響	2
渋谷エリア所在のオフィス物件の状況	3
渋谷エリア所在の商業物件の状況	4
エグゼクティブサマリー	5
決算概況（2021年1月期）	6
業績予想（2021年7月期、2022年1月期）	7
1口当たり分配金の変動要因	8
1口当たり分配金の推移・見通し(～2022年7月期)	9

用語説明

総資産LTV	有利子負債 ÷ 総資産
鑑定ベースLTV	(有利子負債の期末残高+見合現金のない預り保証金敷金の期末残高) ÷ 鑑定評価額（期末時点）
含み損益	不動産等の鑑定評価額（期末時点） - 貸借対照表計上額
NAV	= 出資総額+圧縮積立金(利益処分後)±含み損益 = 純資産 - 分配予定額±含み損益
NOI利廻	NOI（年換算値） ÷ 物件取得価額

*本資料の注意事項については、巻末をご参照下さい

新型コロナウイルス感染症の影響

入居テナントからの賃料減免要請件数は前回緊急事態宣言時から微増に留まる。今後の退去リスクを業績予想へ反映

【支払猶予未収残高】

【賃料減免・RH (注1)】

20/7期(第34期)	21/1期(第35期)	21/7期(第36期)
133百万円	2百万円	-

	20/7期(第34期)	21/1期(第35期)			21/7期(第36期)			22/1期(第37期)
	実績	実績	前回予想	差異	今回予想	前回予想	差異	今回予想
賃料減免	-23百万円 (4件)	-5百万円 (3件)	-114百万円 (36件)	109百万円 (-33件)	-57百万円 (10件)	-24百万円 (2件)	-64百万円 (+12件)	-22百万円 (4件)
RH(注1)	-	-			-31百万円 (4件)			-10百万円 (1件)

【入退去 (注2)】

<オフィス>

	21/1期(第35期)						21/7期(第36期)						22/1期(第37期)		22/1期(第37期) 退去予想の内訳(注4)		
	実績		前回予想		差異		今回予想		前回予想(注3)		差異		今回予想				
	面積	賃料	面積	賃料	面積	賃料	面積	賃料	面積	賃料	面積	賃料	面積	賃料			
退去	-5,196㎡	-101百万円	-4,786㎡	-90百万円	-410㎡	-11百万円	-5,869㎡	-105百万円	-5,915㎡	-172百万円	46㎡	66百万円	-3,113㎡	-102百万円	約定済	-606㎡	-32百万円
入居	2,450㎡	36百万円	2,364㎡	36百万円	85㎡	-0百万円	4,183㎡	43百万円	5,113㎡	54百万円	-929㎡	-10百万円	4,568㎡	48百万円	想定	-2,507㎡	-70百万円
差引	-2,746㎡	-64百万円	-2,421㎡	-53百万円	-324㎡	-11百万円	-1,685㎡	-61百万円	-802㎡	-117百万円	-883㎡	56百万円	1,454㎡	-54百万円			
稼働率	97.5%		97.8%		-0.3pts		96.3%		97.2%		-0.9pts		97.7%				
稼働率 (FR面積控除後)	97.2%		97.5%		-0.3pts		94.9%		95.0%		-0.1pts		96.0%				

<商業施設>

	21/1期(第35期)						21/7期(第36期)						22/1期(第37期)		約定済 想定	
	実績		前回予想		差異		今回予想		前回予想		差異		今回予想			
	面積	賃料	面積	賃料	面積	賃料	面積	賃料	面積	賃料	面積	賃料	面積	賃料		
退去	-442㎡	-16百万円	-442㎡	-16百万円	-	-	-931㎡	-39百万円	-478㎡	-24百万円	-453㎡	-14百万円	-574㎡	-26百万円	-574㎡	-26百万円
入居	442㎡	8百万円	442㎡	2百万円	-	5百万円	147㎡	6百万円	478㎡	14百万円	-331㎡	-8百万円	784㎡	-	784㎡	-
差引	-	-7百万円	-	-13百万円	-	5百万円	-784㎡	-33百万円	-	-10百万円	-784㎡	-22百万円	209㎡	-26百万円	209㎡	-26百万円
稼働率	100.0%		100.0%		-		97.0%		100.0%		-3.0pts		97.8%			

<合計>

	21/1期(第35期)						21/7期(第36期)						22/1期(第37期)		約定済 想定	
	実績		前回予想		差異		今回予想		前回予想(注3)		差異		今回予想			
	面積	賃料	面積	賃料	面積	賃料	面積	賃料	面積	賃料	面積	賃料	面積	賃料		
退去	-5,638㎡	-117百万円	-5,228㎡	-106百万円	-410㎡	-11百万円	-6,800㎡	-144百万円	-6,393㎡	-197百万円	-406㎡	52百万円	-3,687㎡	-129百万円	-1,180㎡	-58百万円
入居	2,892㎡	45百万円	2,806㎡	39百万円	85㎡	5百万円	4,330㎡	49百万円	5,591㎡	68百万円	-1,260㎡	-19百万円	5,352㎡	48百万円	-2,507㎡	-70百万円
差引	-2,746㎡	-72百万円	-2,421㎡	-66百万円	-324㎡	-5百万円	-2,469㎡	-94百万円	-802㎡	-128百万円	-1,667㎡	33百万円	1,664㎡	-80百万円		

(注1) RH (レントホリデー) = 賃貸借契約において、入居後の賃料を一定期間免除する契約形態のうち、入居時以外の特定の時期に賃料を免除する契約形態

(注2) 面積は各期で入退去に係る約定を想定している面積 (FR (フリーレント) 期間中を含む)、賃料は左記面積に対応して当該期に計上する想定賃料 (FR (フリーレント) 期間中を含まない) を記載

(注3) オフィス総賃貸可能面積 (OKIビジネスセンター5号館を除く) の1%相当の追加空室想定 (-44百万円、-1,194㎡) を含む

(注4) 約定済の退去予想は2021年2月15日時点で解約通知を受領済の区画の面積・賃料を記載

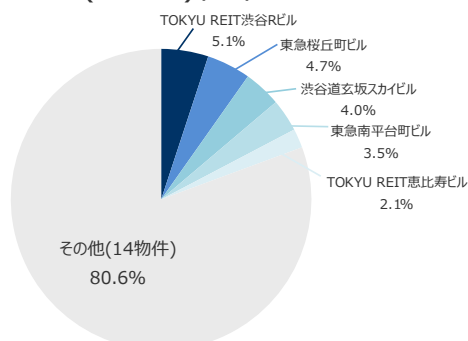
渋谷エリア所在のオフィス物件の状況

渋谷駅周辺地図



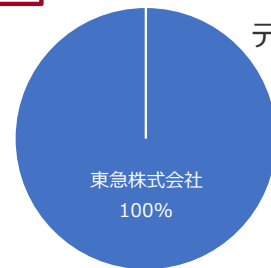
*物件によっては、東急リアル・エステート投資法人及び東急(株)等の保有割合が一部のものもあります。
*東急(株)等保有物件及び東急グループ計画物件について、本書の日付現在で本投資法人による取得は予定されていません。

物件別収入比率(オフィス)(注2)

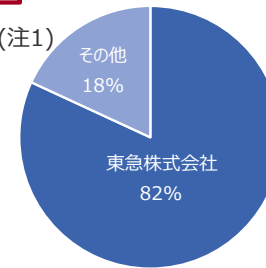


(注1) 総賃貸面積ベース。2021年1月期末(第35期末)時点のテナント構成を記載
(注2) 2021年1月期(第35期)ベース
2021年3月15日 作成

1 東急南平台町ビル



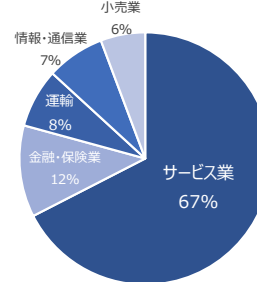
2 東急桜丘町ビル



3 TOKYU REIT渋谷ビル



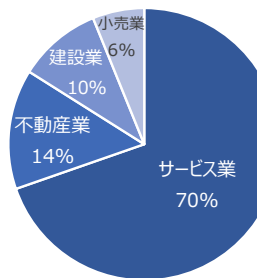
テナント構成(注1)



4 TOKYU REIT恵比寿ビル



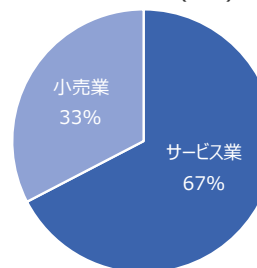
テナント構成(注1)



5 渋谷道玄坂スカイビル



テナント構成(注1)



稼働率の実績・見込み

	21/1期(第35期)実績	21/7期(第36期)予想	22/1期(第37期)予想
退去率	-	-	-
入居率	-	-	-
期末稼働率	100.0%	100.0%	100.0%

稼働率の実績・見込み

	21/1期(第35期)実績	21/7期(第36期)予想	22/1期(第37期)予想
退去率	14.3%(2区画)	-	-
入居率	5.4%(1区画)	8.9%(1区画)	-
期末稼働率	90.7%	99.6%	99.6%

稼働率の実績・見込み

	21/1期(第35期)実績	21/7期(第36期)予想	22/1期(第37期)予想
退去率	17.4%(1区画)	-	34.8%(2区画)
入居率	17.4%(1区画)	-	34.8%(2区画)
期末稼働率	100.0%	100.0%	100.0%

稼働率の実績・見込み

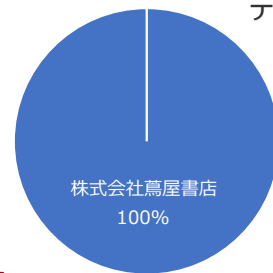
	21/1期(第35期)実績	21/7期(第36期)予想	22/1期(第37期)予想
退去率	19.8%(2区画)	9.9%(1区画)	-
入居率	-	19.8%(2区画)	9.9%(1区画)
期末稼働率	80.2%	90.1%	100.0%

渋谷エリア所在の商業物件の状況

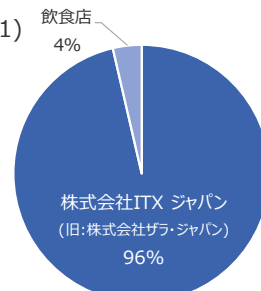
渋谷駅周辺地図



1 QFRONT (キューフロント)



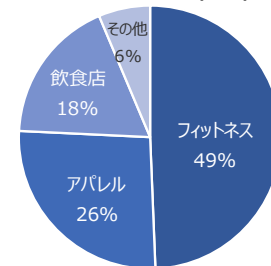
2 TOKYU REIT 渋谷宇田川町スクエア



3 TOKYU REIT表参道スクエア



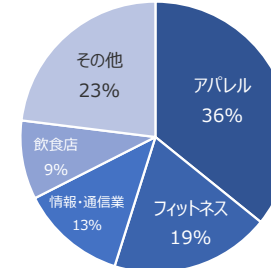
テナント構成(注1)



4 cocoti (ココチ)



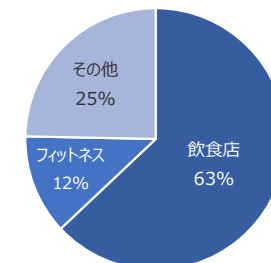
テナント構成(注1)



5 CONZE (コンツェ) 恵比寿



テナント構成(注1)



稼働率の実績・見込み

	21/1期(第35期) 実績	21/7期(第36期) 予想	22/1期(第37期) 予想
退去率	-	-	-
入居率	-	-	-
期末稼働率	100.0%	100.0%	100.0%

稼働率の実績・見込み

	21/1期(第35期) 実績	21/7期(第36期) 予想	22/1期(第37期) 予想
退去率	-	-	-
入居率	-	-	-
期末稼働率	100.0%	100.0%	100.0%

稼働率の実績・見込み

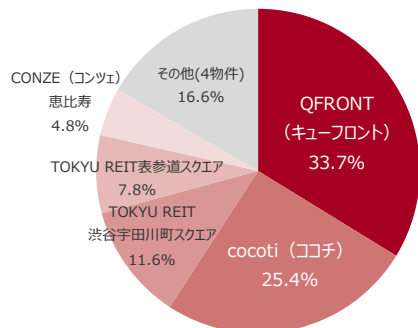
	21/1期(第35期) 実績	21/7期(第36期) 予想	22/1期(第37期) 予想
退去率	-	3.9%(1区画)	6.9%(1区画)
入居率	-	-	3.9%(1区画)
期末稼働率	100.0%	96.1%	93.1%

稼働率の実績・見込み

	21/1期(第35期) 実績	21/7期(第36期) 予想	22/1期(第37期) 予想
退去率	12.3%(1区画)	14.2%(2区画)	-
入居率	12.3%(1区画)	-	14.2%(2区画)
期末稼働率	100.0%	85.8%	100.0%

*物件によっては、東急リアル・エースト投資法人保有物件
保有割合が一部のものもあります。
*東急(株)等保有物件及び東急グループ計画物件について、
本書の日付現在で本投資法人による取得は予定されていません。

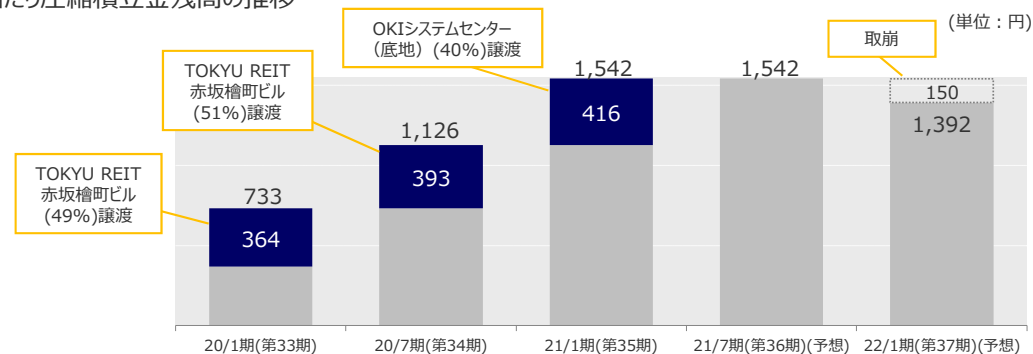
物件別収入比率(商業施設)(注2)



(注1) 総賃貸面積ベース。2021年1月期末(第35期末)時点のテナント構成を記載
(注2) 2021年1月期(第35期)ベース
2021年3月15日 作成

	2021年1月期 (第35期) 実績	2021年7月期 (第36期) 予想	2022年1月期 (第37期) 予想
外部成長	<ul style="list-style-type: none"> ・物件入替 OKIシステムセンター (底地) (40%) 譲渡 OKIビジネスセンター 5号館 取得 ・物件取得 (スタイリオフィット武蔵小杉) 	業績予想作成上、新たな物件売買は織込んでいない	<ul style="list-style-type: none"> ・物件入替 OKIシステムセンター (底地) (30%) 譲渡
不動産等売却益等	764百万円 (+60百万円)	— (-764百万円)	570百万円 (+570百万円)
内部成長	<ul style="list-style-type: none"> ・期末稼働率: 98.4% (-1.2pts) ・賃料改定: +55百万円 ・賃料減免・RH(注3): +17百万円 ・テナント入退去: -35百万円 	<ul style="list-style-type: none"> ・期末稼働率: 97.4% (-1.0pts) ・賃料改定: +33百万円 ・賃料減免・RH(注3): -83百万円 ・テナント入退去: -157百万円 ・雑収入(東急虎ノ門ビル原状回復費等): +128百万円 	<ul style="list-style-type: none"> ・期末稼働率: 98.3% (+0.9pts) ・東急虎ノ門ビル増築工事: -414百万円 ・賃料減免・RH(注3): +56百万円 ・テナント入退去: -106百万円 ・雑収入: -149百万円
NOI	5,626百万円 (+218百万円)	5,567百万円 (-58百万円)	4,893百万円 (-674百万円)
営業利益	4,538百万円 (+213百万円)	3,722百万円 (-816百万円)	3,594百万円 (-127百万円)
財務(注1)	<ul style="list-style-type: none"> ・支払利息: -5百万円 (平均金利: 0.87% (-0.10pts)) 	<ul style="list-style-type: none"> ・支払利息: -21百万円 (平均金利: 0.83% (-0.04pts)) 	<ul style="list-style-type: none"> ・支払利息: -11百万円 (平均金利: 0.79% (-0.04pts))
当期純利益	4,083百万円 (+227百万円)	3,284百万円 (-798百万円)	3,167百万円 (-117百万円)
1口当たり	4,176円 (+232円)	3,360円 (-816円)	3,240円 (-120円)
圧縮積立金繰入額	407百万円 (+23百万円)	— (-407百万円)	—
1口当たり	416円 (+23円)	— (-416円)	—
圧縮積立金取崩額	—	—	146百万円 (+146百万円)
1口当たり	—	—	150円 (+150円)
1口当たり分配金	3,760円 (+209円)	3,360円 (-400円)	3,390円 (+30円)
1口当たりNAV	198,120円 (+2,573円)		
鑑定ベースLTV	36.4% (+2.0pts)		
取得余力(注2)	834億円 (-82億円)		

(参考) 1口当たり圧縮積立金残高の推移



(注1) 借入金・投資法人債
 (注2) 鑑定ベースLTV50%想定
 (注3) RH (レントホリデー) = 賃貸借契約において、入居後の賃料を一定期間免除する契約形態のうち、入居時以外の特定の時期に賃料を免除する契約形態
 * () の数値は前期比

決算概況 (2021年1月期)

■ 損益計算書 (P/L) 及び 1口当たり分配金

(単位: 百万円)

科目	2021年1月期 実績 (第35期)	2020年7月期 実績 (第34期)	比較 増減	2021年1月期 予想 (第35期) 2020年9月14日時点	比較 増減
営業収益 (A)	8,611	8,203	408	8,497	114
不動産賃貸事業収益 (B)	7,845	7,499	346	7,736	109
賃貸事業収入	7,454	7,175	279	7,350	104
その他賃貸事業収入	391	324	66	385	5
不動産等売却益	764	703	60	760	3
資産受入益	1	-	1	-	1
営業費用 (C)	4,072	3,878	194	4,213	-140
不動産賃貸事業費用	3,221	3,067	153	3,376	-154
諸経費 (D)	2,219	2,092	127	2,315	-96
NOI (B) - (D)	5,626	5,407	218	5,420	205
減価償却費	996	974	22	1,055	-58
固定資産除却損	5	0	4	5	0
その他営業費用	851	810	40	836	14
うち資産運用報酬	683	668	15	671	11
営業利益 (A) - (C)	4,538	4,325	213	4,284	254
営業外収益	5	0	4	0	4
営業外費用	460	469	-9	459	0
うち支払利息	394	403	-9	395	-1
うち投資法人債利息	44	39	4	43	1
経常利益	4,084	3,856	227	3,825	258
当期純利益	4,083	3,855	227	3,824	258

1口当たり 情報	1口当たり当期純利益 (EPS) (円)	4,176	3,944	232	3,912	264
	1口当たり圧縮積立金繰入額 (円)	416	393	23	391	25
	1口当たり分配金 (DPU) (円)	3,760	3,551	209	3,520	240
その他	稼働率 (%)	98.4	99.6	-1.2pts	98.6	-0.2pts
	NOI利廻 (注1) (%)	4.69	4.71	-0.02pts	4.52	0.17pts

(注1) 期中平均資産残高 (取得価額) ベース

(注2) 2020年11月1日付でKN自由が丘プラザより名称変更

(注3) RH (レントホリデー) = 賃貸借契約において、入居後の賃料を一定期間免除する契約形態のうち、入居時以外の特定の時期に賃料を免除する契約形態

2021年3月15日 作成

■ 主な差異の内訳

<対前期比較>

営業収益	不動産賃貸事業収益	+346百万円
	賃貸事業収入	+279百万円
	・物件取得譲渡	+223百万円
	OKIビジネスセンター 5号館 取得	+265百万円
	TOKYU REIT自由が丘スクエア (注2)	
	(51%) 取得 (通期影響)	+7百万円
	スタイリオフィット武蔵小杉 取得	+1百万円
	OKIシステムセンター (底地) (40%) 譲渡	-39百万円
	TOKYU REIT赤坂檜町ビル (51%) 譲渡 (通期影響)	-10百万円
	・東急虎ノ門ビル	+28百万円
	・QFRONT (キューフロント)	+23百万円
	・賃料減免・RH (注3)	+17百万円
	・渋谷道玄坂スカイビル	-17百万円
	・東急番町ビル	-15百万円
	その他賃貸事業収入	+66百万円
	・水道光熱費収入	+24百万円
	・雑収入 (解約違約金・原状回復費等)	+42百万円
	不動産等売却益	+60百万円
営業費用	不動産賃貸事業費用	+153百万円
	諸経費	+127百万円
	・修繕費	+63百万円
	・外注委託費	+24百万円

<対予想比較>

営業収益	不動産賃貸事業収益	+109百万円
	賃貸事業収入	+104百万円
	・賃料減免・RH (注3)	+109百万円
	・スタイリオフィット武蔵小杉 取得	+1百万円
	その他賃貸事業収入	+5百万円
	・雑収入 (解約違約金・原状回復費等)	+41百万円
	・水道光熱費収入	-37百万円
営業費用	不動産賃貸事業費用	-154百万円
	諸経費	-96百万円
	・水道光熱費	-59百万円
	・外注委託費	-19百万円

業績予想（2021年7月期、2022年1月期）

■ 予想損益計算書（P/L）及び1口当たり予想分配金

（単位：百万円）

科目	2021年1月期 実績 (第35期)	2021年7月期 予想 (第36期) 2021年3月16日時点	比較 増減 (前期比)	2022年1月期 予想 (第37期) 2021年3月16日時点	比較 増減 (前期比)
営業収益 (A)	8,611	7,910	-700	7,820	-90
不動産賃貸事業収益 (B)	7,845	7,910	64	7,249	-660
賃貸事業収入	7,454	7,390	-64	6,885	-505
その他賃貸事業収入	391	520	129	364	-155
不動産等売却益	764	-	-764	570	570
資産受入益	1	-	-1	-	-
営業費用 (C)	4,072	4,188	115	4,225	37
不動産賃貸事業費用	3,221	3,361	139	3,404	43
諸経費 (D)	2,219	2,342	123	2,356	13
NOI (B) - (D)	5,626	5,567	-58	4,893	-674
減価償却費	996	1,013	16	1,043	30
固定資産除却損	5	5	-0	5	-
その他営業費用	851	827	-24	821	-6
うち資産運用報酬	683	676	-7	652	-23
営業利益 (A) - (C)	4,538	3,722	-816	3,594	-127
営業外収益	5	0	-4	0	-0
営業外費用	460	437	-22	426	-10
うち支払利息	394	377	-16	364	-13
うち投資法人債利息	44	39	-5	40	1
経常利益	4,084	3,285	-798	3,168	-117
当期純利益	4,083	3,284	-798	3,167	-117

1口当たり 情報	1口当たり当期純利益（EPS）（円）	4,176	3,360	-816	3,240	-120
	1口当たり圧縮積立金繰入額（円）	416	-	-416	-	-
	1口当たり圧縮積立金取崩額（円）	-	-	-	150	150
	1口当たり分配金（DPU）（円）	3,760	3,360	-400	3,390	30
その他	稼働率（%）	98.4	97.4	-1.0pts	98.3	0.9pts
	NOI利廻（注1）（%）	4.69	4.63	-0.06pts	4.01	-0.62pts

（注1）期中平均資産残高（取得価額）ベース

（注2）RH（レントホリデー）＝賃貸借契約において、入居後の賃料を一定期間免除する契約形態のうち、入居時以外の特定の時期に賃料を免除する契約形態

■ 主な差異の内訳

<2021年7月期(第36期)対前期比較>

営業収益	不動産賃貸事業収益	+64百万円
	賃貸事業収入	-64百万円
	・物件取得譲渡	+137百万円
	・OKIビジネスセンター 5号館 取得（通期影響）	+122百万円
	・スタイリオフィット武蔵小杉 取得（通期影響）	+33百万円
	・OKIシステムセンター（底地）（40%）譲渡（通期影響）	-18百万円
	・賃料減免・RH（注2）	-83百万円
	・渋谷道玄坂スカイビル	-32百万円
	・世田谷ビジネススクエア	-24百万円
	・東急池尻大橋ビル	-23百万円
	・TOKYU REIT虎ノ門ビル	-18百万円
	その他賃貸事業収入	+129百万円
	・雑収入（原状回復費等）	+128百万円
	不動産等売却益（前期分）	-764百万円
営業費用	不動産賃貸事業費用	+139百万円
	・公租公課	+36百万円
	・修繕費	+32百万円
	・外注委託費	+27百万円

<2022年1月期(第37期)対前期比較>

営業収益	不動産賃貸事業収益	-660百万円
	賃貸事業収入	-505百万円
	・東急虎ノ門ビル（増築工事に伴う減収等）	-414百万円
	・cocoti（ココチ）	-33百万円
	・TOKYU REIT恵比寿ビル	-30百万円
	・麹町スクエア	-28百万円
	・世田谷ビジネススクエア	-28百万円
	・賃料減免・RH（注2）	+56百万円
	その他賃貸事業収入	-155百万円
	・雑収入	-149百万円
	不動産等売却益	+570百万円
営業費用	不動産賃貸事業費用	+43百万円
	・修繕費	+36百万円

1口当たり分配金の変動要因

1口当たり分配金の変動要因別内訳

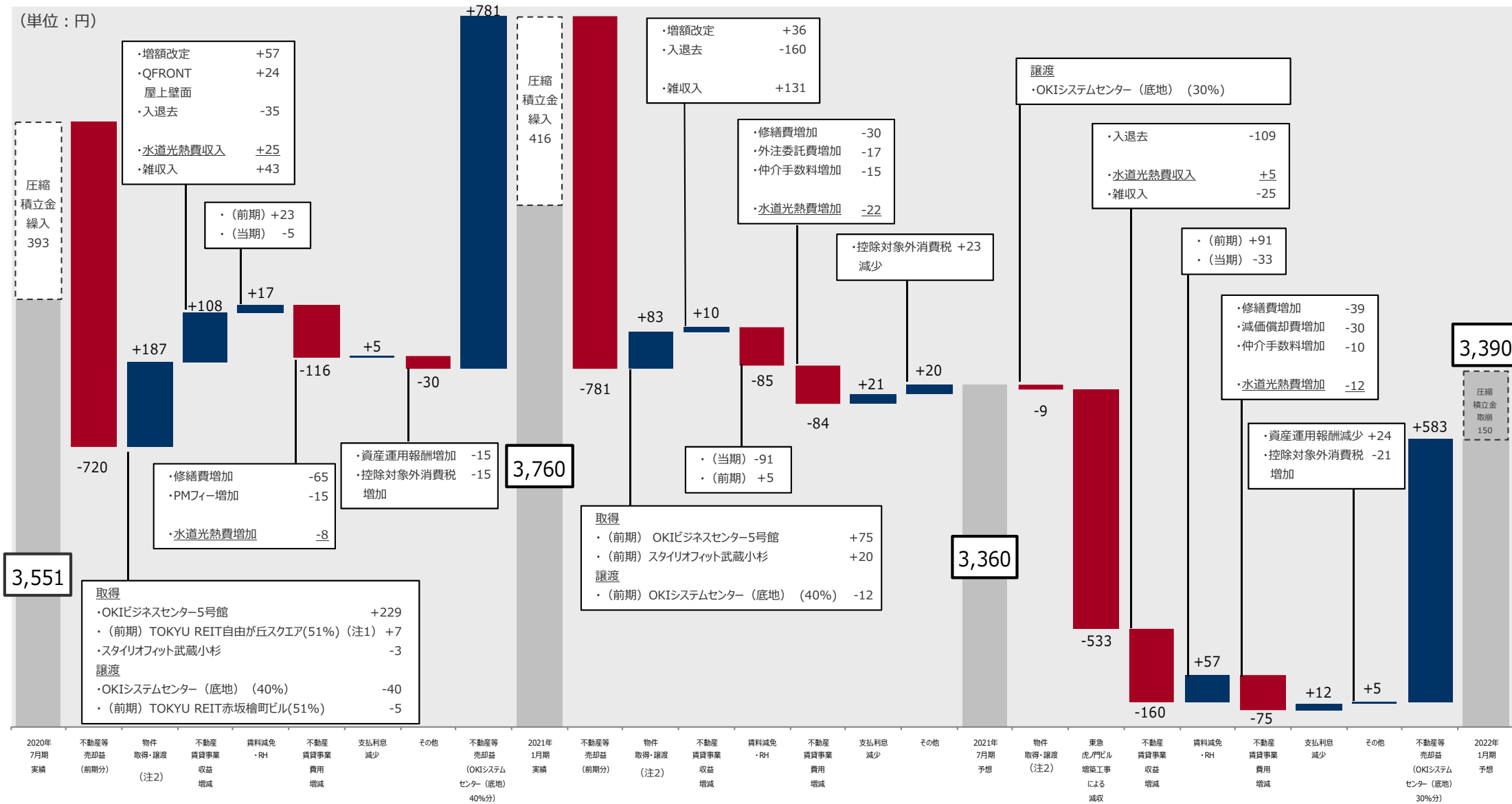
* 内に記載した数値が分配金の実績・予想

2021年1月期（第35期）実績

2021年7月期（第36期）予想

2022年1月期（第37期）予想

(単位：円)



*RH (レントホリデー) = 賃貸借契約において、入居後の賃料を一定期間免除する契約形態のうち、入居時以外の特定の時期に賃料を免除する契約形態
 (注1) 2020年11月1日付でKN自由が丘プラザより名称変更
 (注2) 償却後NOIの数値

1口当たり分配金の推移・見通し(～2022年7月期)

2021年7月期(第36期)～2022年7月期(第38期)の分配金は3,360円以上を確保

分配金成長要素

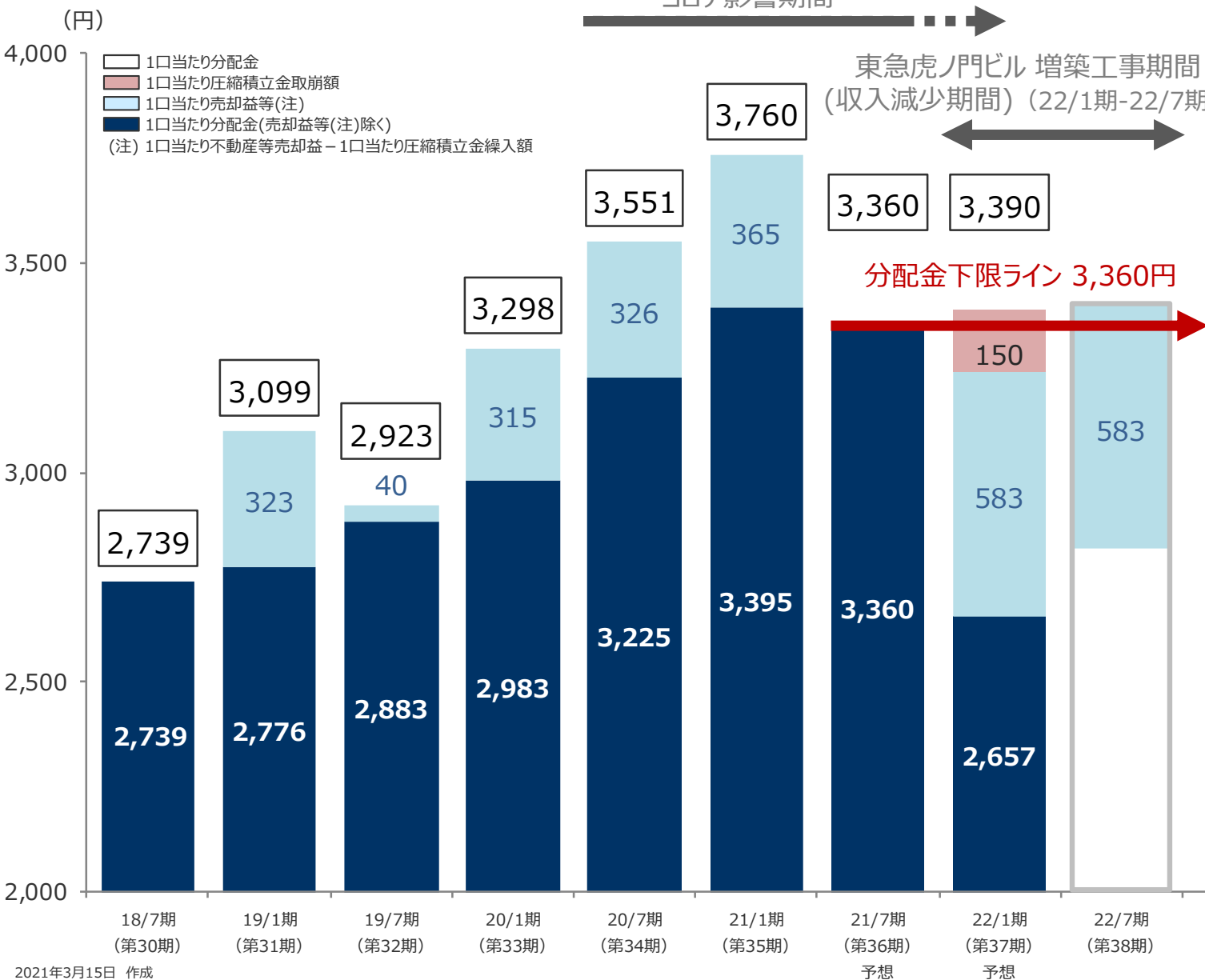
コロナ影響期間

東急虎ノ門ビル 増築工事期間
(収入減少期間) (22/1期-22/7期)

分配金下限ライン 3,360円

外部成長	<ul style="list-style-type: none"> ・低位なLTVによる取得余力の活用 ・不動産市況を見極めつつ物件を取得 <ul style="list-style-type: none"> ・鑑定ベースLTV：36.4% (21/1期末時点) (LTV50%までの取得余力 834億円) ・総資産ベースLTV：44.0% (21/1期末時点) (LTV50%までの取得余力 278億円)
売却益還元	<ul style="list-style-type: none"> ・物件入替による含み益の実現 <ul style="list-style-type: none"> ・売却益：36億円 (うち、内部留保 11億円) (19/1-22/7期) ・含み益：816億円 (21/1期末時点)
支払利息削減	<ul style="list-style-type: none"> ・リファイナンスによる支払利息削減 <ul style="list-style-type: none"> ・21/7期-22/7期の長期借入金・投資法人債返済・償還予定額:264億円(平均金利:0.82%) ・直近期 (21/1期) の長期借入金・投資法人債平均調達金利：0.57%※ ※固定金利のみ

分配金の下振れ時には圧縮積立金の取崩
(一口当たり残高1,542円※) に対応
※21/1期末時点



本資料は情報の提供のみを目的としており、特定の商品についての取引の勧誘を目的とするものではありません。

本資料で提供している情報は、金融商品取引法、投資信託及び投資法人に関する法律及びこれに付随する政令、内閣府令、規則並びに東京証券取引所上場規則及び投信協会規則等で要請され、またはこれらに基づく開示書類または運用報告書ではありません。

本資料には、東急リアル・エステート投資法人（以下、「東急REIT」といいます）に関する記載の他、第三者が公表するデータ・指標等をもとに東急リアル・エステート・インベストメント・マネジメント株式会社（以下、「東急REIM」といいます）が作成した図表・データ等が含まれています。また、これらに対する東急REIMの現時点での分析・判断・その他の見解に関する記載が含まれています。なお、第三者が公表するデータ・指標等の正確性について、東急REIT及び東急REIMは一切の責任を負いかねます。

本資料の内容に関しては未監査であり、その内容の正確性及び確実性を保証するものではありません。また、東急REIMの分析・判断その他の事実でない見解については、東急REIMの現在の見解を示したものにすぎず、異なった見解が存在し、または東急REIMが将来その見解を変更する可能性があります。

本資料には、東急REITの将来の業績に関する記述が含まれていますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではありません。

端数処理等の違いにより、同一の項目の数値が他の開示情報と一致しない場合があります。また、グラフ作成上の都合により、表示されている日付が営業日と異なる場合があります。

本資料への掲載に当たっては注意を払っていますが、誤謬等が生じている可能性があり、予告なく訂正または修正する可能性があります。

本資料において、特段の記載の無いものは、2021年1月31日現在の情報です。